議会だより かわら

2026.10.31
No.109

福岡県香春町議会



第14回 議員と語ろう会







主な内容

９月定例会

第14回 議員と語ろう会…… 2
令和７年度決算…… 4
一般質問　９人が町政を問う…… 10
議会活動…… 19

7月11日（土）に実施

▶70名の方に参加いただき、３つのテーマに分かれて意見交換を行いました。
約80分間の意見交換を行いましたので、参加者から寄せられたご意見やアンケート結果を紹介します。

テーマ　健康づくりとスポーツ振興



町民体育館は老朽化で雨漏りをしているので、対応してほしい。エアコンを完備してほしい。

地区大会や大きな大会を香春町に誘致してほしい。町がその活動をしてほしい。

運動公園のプールがなくなったが、室内練習場にするなど、利活用してほしい。

テーマ　高齢者支援と地域交通



免許を持たない方や障がい者などの少数の意見とどう向き合っているか説明がない。また、鉄道のインフラを切っていくようなら、住めない町になる。時代の変化に応じて対応してほしい。

買物に特化したバスを出してほしい。

国や町が支援している予防接種の対象者には、町が該当者に直接、ハガキなどでお知らせしてほしい。

第14回 議員と語ろう会

テーマ **食と子育て支援**



アンケート結果

香春町に期待することは

- ▶企業を誘致して雇用を増やす。働く意欲はあるが場所がない。（70代）
- ▶公共交通機関の充実（特に町外への交通手段）。（70代）
- ▶身近にDXとか町公式LINEを町民が使える・使う様になる仕掛けが必要では。（60代）
- ▶他の市町村にはない特別な物（付加価値）があるといいと思う。（40代）
- ▶他町にくらべて人を集めるイベントが少ない（パン・デザート・車いすレース・スケボー他）（70代）

香春町の課題は

- ▶ふるさと納税の税収を増やすために地産の物を増やすように努力してほしい。干し柿のデザートを作るなど、竹の子やメンマ以外にも検討を。（60代）
- ▶町の活動・情報を町民が理解していない。町民がもう少し情報を聞ける仕組が必要。（60代）
- ▶農業を守ること。担い手、栽培方法、獣被害など課題は盛りだくさん。（50代）
- ▶町全体が汚い（川・公園・町道・道の駅）→魅力がない。（40代）
- ▶当面は交通機関が高齢者の課題と思います。買物、病院難民です。（70代）

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。地域を想う切実なご意見やご提案など、多くの貴重な「声」をいただくことができました。今後の活動や政策提案に反映できるよう取り組んでまいります。

づくりに

審議結果をCHECK

議会情報はこちらから

令和７年度一般会計決算の概要

決算総額は歳入90億2,095万円、歳出85億6,654万円。
主な決算を、第５次香春町総合計画の３つの基本目標「暮らしを守る」「人を育む」「社会をつくる」に区分し紹介します。

9月定例

令和８年９月議会は、９月８日（火）から18日（金）までの11日間開催。議案・発委・発議等29件は、28件を原案のとおり可決し、１件を否決しました。（関連記事P21）

母子サポート 金芽米をお届け

116万円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の一つとして、母子手帳の申請時から１歳の誕生月まで、香春産米を活用した金芽米５kgを毎月自宅にお届け。

Q申請の手続き方法は。

A母子手帳の交付手続き時に、保健師が面談し、事業内容の説明後、希望者は申請していただいている。



※無洗米のため、洗米せずにそのまま水に浸して炊くことができます。

詳しくは、保険健康課▶（☎32-8401）

子育て世代の拠点整備に

3億6,428万円

旧香春小学校跡地に子育て世代を支援する拠点を整備する事業で、Ｒ７年度は、校舎１階に子育て支援施設かぱるの工事を実施。また、校舎の外壁・屋上防水工事や周辺工事なども実施。



令和８年４月　かぱるオープン



令和９年春　賑わい施設オープン予定

（暮らしを守る・人を育む・社会をつくる）に区分して表示しています。

持続可能なまち

引き続き給食無償化に

2,491万円

国の臨時交付金を活用し、学校給食費を無償化。



保育所副食費を助成

580万円

保育所の副食費を助成し、保護者の経済的負担を軽減。なお、Ｒ６年７月からは、主食費の助成も実施。



早期発見がん検診を

41万円

一定年齢の方を対象に、子宮頸がん検診や乳がん検診の無料クーポン券を配布するがん検診推進事業を実施。

Q尿から、がん検査をできると聞いたが、早期発見のため、導入しては。

A国のガイドラインに基づき住民健診を実施しており、自由診療に対し、町が補助することは難しい。

詳しくは、保険健康課▶（☎32-8401）

学童クラブの運営委託に

3,506万円

保護者が就労などにより家庭にいない１年生から６年生の児童を対象に、放課後や夏休みなどの期間に生活の場を提供するため、学童クラブの運営を委託。

Q受入の人数が増えているが、定員に問題はないか。

A定員160名に対し、Ｒ７年４月は139名、Ｒ８年４月は153名を受入。児童数の減少に伴い、定員を超える見込みはない。

詳しくは、教育課▶（☎32-8409）

予算・決算は、第５次香春町総合計画の３つの基本目標

創業・継承支援に

677万円

商工会と協力し、創業セミナーを実施し、新規創業者や事業継承者に補助金を交付。

実績 ６人が新規創業



詳しくは、地域振興課▶
（☎32-8413）

移住空き家相談室の運営に

497万円

移住希望者や空き家・空き地の所有者からの相談に対し、ワンストップ窓口として、移住・空き家相談室の運営を民間事業者に委託。



詳しくは、地域振興課▶
（☎32-8413）

住宅新築応援交付金を交付

200万円

空き家・空き地情報バンクに登録された空き地または分譲地に住宅を新築するなど、一定の要件を満たす方に、上限100万円で応援交付金を交付。なお、令和８年度から国の補助金などを活用している住宅も対象となるように要件を緩和。

実績 ２件の交付決定

詳しくは、地域振興課▶
（☎32-8413）

移住支援金を交付

500万円

東京圏・名古屋圏・大阪圏の三大都市圏など県外から町内に移住し、就業などの一定の要件を満たす方に、移住支援金を交付。単身60万円、２人以上の世帯100万円で、子の加算有。

実績 ３世帯８人に交付

Q就業を要件とした移住か。

A就業を要件とした移住ではない。東京圏で香春町にふるさと納税したことがある方も対象となるなど、要件を緩和し、事業を推進している。

詳しくは、地域振興課▶
（☎32-8413）

地域活性化の推進に

25万円

地域での支え合いや町のにぎわいを創出する団体などに対し、補助金５万円を交付。

実績　５団体に交付

Q今後も事業を継続する方針か。
A毎年同じ団体が申請する状況もあるため、令和８年度の内容を踏まえ、検討する。

詳しくは、地域振興課▶
（☎32-8413）

コミュニティ協議会の活動支援に

811万円

地域課題解決のために地域自ら主体となって活動する、採銅所・勾金・中津原のコミュニティ協議会の活動に対し、補助金を交付。



地域で支え合い

公金セルフ収納機の利用を

25万円

公金セルフ収納機の保守点検委託料として、Ｒ７年10月～Ｒ８年３月までの半年分を支出。



利用は平日８時30分から17時まで

詳しくは、会計室▶
（☎32-8412）

ふるさと納税を推進

2億7,034万円

令和７年度の実績は、19,757件の寄付額5億6,101万円で、大幅に増加。寄付による経費として、謝礼品代や業務代行費用などを支出。



詳しくは、地域振興課▶
（☎32-8413）

平成筑豊鉄道の維持に

2,519万円

平成筑豊鉄道の路線維持のため、負担金を支出。今後、平成筑豊鉄道沿線地域公共交通協議会で決議された路線バス案に向け、関係団体と地域公共交通計画を策定していく予定。



高齢者免許自主返納を支援

40万円

事故のない町づくりを目的に、70歳以上の運転免許自主返納者に対し、かわらくバス回数券など合計10,000円相当を交付。

実績 40人が自主返納



詳しくは、総務課▶
（☎32-2511）

町営住宅の長寿命化に

1億1,714万円

浦松団地除却工事、上清団地改良住宅除却工事、豊産団地改修工事など、町営住宅の住環境整備のため、工事費や設計業務委託料などを支出。



除却工事を実施

消防備品更新で消防力強化

224万円

消防団の消防力強化のため、計画的に消防備品を更新。

実績 可搬ポンプ２台を更新



９月補正予算

文化財保護に補助金交付

186万円

文化財補助金交付要綱に基づき、香春神社回廊補修工事と清祀殿屋根補修工事に対する補助金を交付。

Q国や県の補助はないのか。
A今回はない。



地域おこし協力隊の募集に向けて

307万円

令和９年度から地域おこし協力隊を２名採用するため、募集業務支援を委託。
３年間の活動で、部活動地域展開の体制整備や全体のコーディネートなどを行う予定。



空き家リフォーム等補助金

310万円

空き家バンクに登録された物件のリフォーム費用に対し、上限100万円で補助金を交付。４件の申請と７件の相談があるため、不足する予算を増額。

詳しくは、地域振興課▶
（☎32-8413）

かわらくバス運行経費を増額

618万円

10月からの西鉄バス廃止による拡張運行や11月からの土曜日の本格運行に伴う経費を増額。

Q燃料費も上がり運行経費が上がってくると思うが、車両の小型化で効率化しては。
A車両の更新時に見直しをしていきたい。



詳しくは、総合政策課▶
（☎32-8408）

人権擁護委員を推薦
適任と認める

新 東（あずま） 千恵子（ちえこ） 氏 （呉区）

任期は３年間
令和９年１月１日～令和11年12月31日

待つ支援からアウトリーチへ

保険健康課長 積極的に包括訪問している



藤井（ふじい） 清孝（きよたか） 議員

問 当町の一人暮らし高齢者の人数と割合、過去5年間の推移は。

答 佐野保険健康課長
令和8年7月末現在、65歳以上は、4千191人で、人口に占める割合は43・1％。そのうち、一人暮らし高齢者は1千660人で17・1％。過去5年間は増加傾向。

問 町は生活実態をどこまで把握しているのか。定期調査を行う考えは。

答 佐野保険健康課長
毎年度、福岡県介護保険広域連合が抽出による調査を実施し、一人暮らし高齢者の実態や困りごとの傾向を把握している。

問 高齢者が抱える課題のなかで、ごみ出しがあるが、困難者への対応は。

答 池本税務住民課長
個別相談に応じ、玄関前から収集している。見守りにもつながる「ふれあい収集」の実施は、福祉部門と連携しながら検討する。

問 敬老事業は、行政区の未加入者に対して個別案内はできないか。

答 佐野保険健康課長
区長会や広報で周知しており、今後もより良い周知方法を検討する。

問 外出機会が少ない高齢者や認知症の心配がある方への支援は。

答 佐野保険健康課長
医療、介護データや健診状況をもとに個別通知しているほか、見守りネットワークにより必要なサービスへつなげたい。

問 2年前、町は「孤独・孤立対策推進法を注視する」と答弁したが、この2年間で何を行い、何を変えたのか。

答 佐野保険健康課長
緊急通報システム、配食サービスで安否確認を実施している。また、地域での見守りの重要さを考え、地区公民館での運動教室を29箇所まで拡大できた。



地域のつながりを

問 孤独・孤立対策推進法は、早期発見、早期支援が目的である。町として2年間の検証を踏まえた行動計画や数値目標を策定する考えは。

答 佐野保険健康課長
実施計画で3年間の数値目標を設定しており、地域での見守りや居場所づくりに引き続き取り組んでいきたい。

問 孤独・孤立は待つ支援ではなく、町から出向くアウトリーチが重要である。2年間でどのように強化したか。

答 佐野保険健康課長
地域の見守りを強化し、積極的に包括訪問を行っている。

アウトリーチとは
積極的に対象者の居る場所に出向いて働きかけること

地域防災力の強化と人材育成

町長 共助の核となる人材育成を検討



山下（やました） 剛（たけし） 議員

地域運営と自主防災組織

問 旧香春校区の地域運営組織設立の進捗状況と、自主防災組織の課題と対応は。

答 國安地域振興課長
香春地区の区長との対話から進め、来年度にワークショップを想定。

答 江藤総務課長
自主防災の課題は、地域間の意識の温度差であり、協議の場を早期に設ける。

問 災害は待ったなし。停滞する自主防災組織の体制再構築にどう取り組むか。

答 鶴我町長
行政だけでは対応に限界がある。停滞している自主防災の取組を改めてしっかりと進めたい。



地域で助け合い





かわらっこパーク　春オープン予定

防災機能付き多機能公園

問 かわらっこパークの防災機能整備や、香春地区側の避難場所確保の見解は。

答 國安地域振興課長
少量の水で使えるトイレを設置するほか、太陽光で充電できるベンチの設置を検討中。

答 江藤総務課長
避難所確保は、慎重に調査研究する。

防災士資格取得の支援

問 共助の核となる地域防災リーダー育成のため、防災士資格取得費用の助成制度を創設しては。

答 江藤総務課長
対象者を絞り、取得後に地域活動へ協力する条件付きでの導入が考えられる。先進地を参考に検討する。

問 大規模災害に備え、地域防災力を高めるための町長の意欲と今後の取組は。

答 鶴我町長
共助は、町民の命と暮らしを守るために不可欠である。地域リーダー育成の提案を前向きに検討し取り組む。

防災士とは
日本防災士機構が認定する民間資格。「自助」「共助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災・減災のために活動できる十分な知識と技能を有する。

高齢者へのエアコン購入助成を

町長 対策ができるか考えていく



下村（しもむら） 和子（かずこ） 議員

問 熱中症対策として、高齢世帯へのエアコン購入に助成している自治体が増えている。エアコンがない、または故障して使えない高齢世帯へ購入助成を。

答 鶴我町長
対象とすべき高齢者や助成の範囲などを分析し、対策ができるか考えていきたい。

・定住を促進するためにも当町でも援助を。

答 國安地域振興課長
先行自治体の状況を調査し、移住・定住にどの程度の効果があるのか検証していきたい。

国の重点支援地方交付金の活用状況は

問 6月議会で物価高騰対策として交付される重点支援地方交付金を使って、町民への生活支援や夏の猛暑対策を求めたが、活用内容は。

答 脇山総合政策課長
令和8年度の交付額696万4千円は、地区公民館空調設備整備補助金に充当したい。

貸与型奨学金の返還に行政として援助を

問 物価高と大学授業料の値上げで貸与型奨学金の返還負担が重くなっている。全国の自治体の半数近くが返還支援に取り組んでおり、移住

水道管の老朽化対策

問 水道管老朽化の影響と思われるが、新町区の一部の道路にくぼみがあり、対策を求める声がある。

答 新谷建設課長
区からの要望を受けている。水道管を入れて長い年月がたった場合は境目が落ちているところもある。建設課と住宅水道課で協議しながら、舗装工事を進めている。

クーリングシェルターへウォーターサーバー設置を

問 役場庁舎内にウォーターサーバー設置を求めてきたが、その後の検討は。

答 脇山総合政策課長
熱中症予防は、自助でマイボトル等を持参いただきたい。



クーリングシェルター

香春町でも起きる可能性がある大地震への備え

問 近くに福智山断層があり、当町でも大きな地震が起きる恐れがある。地震を想定した食料の準備は。

答 江藤総務課長
福岡県の備蓄基本計画に基づき、避難者を500人と想定し、食料や飲料など災害から3日分の4500食を備蓄している。

問 自治体主導で地域の消防団と一緒に避難訓練などをやっていくべきでは。

答 江藤総務課長
独り暮らしの高齢者を引率して逃げることができる自主防災組織の体制づくりを進めていきたい。

ジャンボタニシ駆除剤の補助を



村上（むらかみ）　寿利（ひさとし）　議員

農林振興課長
被害の実態をまず把握したい

問 田植え直後の若い苗を食害するジャンボタニシの防除事業に対する要望を耳にする。大任町、田川市では駆除薬剤購入補助を本年度から実施している。当町の農業生産の主軸は水稲栽培のため、当町でも検討しては。

答 岩丸農林振興課長
防除策としては、卵の除去などの物理的防除と駆除剤の散布である。その両方の実行が有効であるが、防除に対する農家の意識の違いがあるように感じており、実施に踏み切れない。



ジャンボタニシの被害防止を

農業基本指標

問 2020年農林業統計によると当町の耕地総面積は470haに対し、水田面積は86%を占めているが、農業経営体の状況は。

答 岩丸農林振興課長
総農家数は315戸、内204戸が販売農家、111戸が自家消費農家である。また、農業生産額は3億8千万円で、内58%が米である。

歴史資料館

問 アイク生原氏の米国のご遺族そして元LAドジャース・オーナー、オマリー氏の理解を得て、私自身が遺品58点を無償借用・使用許諾を受け、6月9日から資料館に貸出展示している。同館の収蔵品は何点か。また、保管や保存の方法は。

答 加々見教育課長
除湿機能を有する収蔵庫に、ケース保管が522箱、写真等が7千点。また、資料館展示が640点で、それ以外に民具を旧勾金小学校の空き教室で保管している。なお、管理は学芸員の資格を有する職員1名が一般業務と共に行っている。

問 入館者の状況は。

答 加々見教育課長
5年間の平均で約年600人弱である。アイク氏の遺品展示後は、新聞等への掲載もあり、前年8月末時点の87名と比較し、今年度は1・4倍の増となっている。



アイク氏野球殿堂入り
記念ブロンズ額

問 多くの博物館や当町資料館と類似した施設で、収蔵品の価値を維持するため、デジタル化が進められているが、当町での取り組みは。

答 鶴我町長
現状で知識を持たないため、担当課と研究していきたい。

※その他、令和7年度国勢調査の結果及び「第2期まち、ひと、しごと創生総合戦略」における人口減少対策を質問した。

伊田駅までの運行の地域説明会を

総合政策課長 区長を通じて要望をいただきたい



ふくしま ひろゆき
福島 浩之 議員

問 採銅所地区の高齢者を対象に独自のアンケート調査を実施した。かわらくバスは、乗合率が低いのでは。

答 脇山総合政策課長
乗車希望が分散し、乗合率が低くなる課題がある。より多くの方に乗っていただき、効率の向上を進めていきたい。

問 予約をしなくても、同じ行政区に帰りたい人は乗ってもいいのでは。

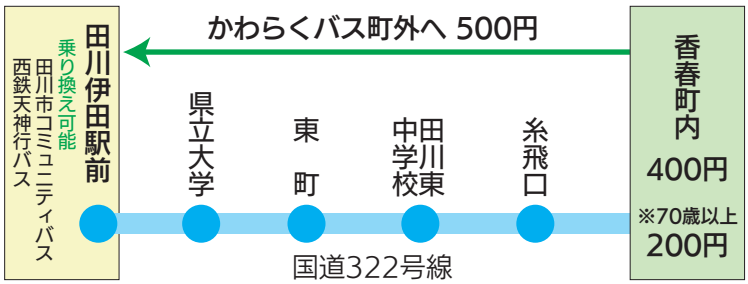
答 脇山総合政策課長
予約をしないと運行ルートが途中で変わり、次の到着時刻に遅れるなど影響がある。

問 大任町のゆめマートに行ってほしい意見が多い。町民の声も大事ではないか。

答 鶴我町長
公共交通を通学や通勤で利用している人や、町内の商店を利用している人がいる。行政の事業によって衰退を招くことは避けたい。

問 かわらくバスが10月から田川伊田駅まで町外運行するが、説明会を開き周知しては。

答 脇山総合政策課長
説明会の開催は、区長を通じ要望をあげていただきたい。



町外運行イメージ

タクシー利用助成券

問 1枚1千円の助成券を1枚500円にできないか。

答 脇山総合政策課長
次年度以降の事業継続は未定だが、利用者が使いやすい方法の検討は必要。

問 通院の利用のみに限定し、支援はできないか。

答 脇山総合政策課長
今年度はタクシー利用券を利用して町外に行っていただきたい。

防災（対策と支援）

問 大規模災害が発生した場合、体育館を避難所として使用することになるが、冷房暖房機や発電機の対応は。

答 江藤総務課長
ハイブリット式の発電機1台とポータブル蓄電機が6台あるが、電力量の確保に課題がある。

問 自主避難で使用する公民館に、水などの備蓄品を置いては。

答 江藤総務課長
今後、公民館での備蓄も考えていかなければいけない。

問 防災意識の向上のため、旧小学校区の4地区に分けて避難訓練を実施しては。

答 江藤総務課長
まずは、公民館や行政区の単位で、自主防災組織を形成したい。その次に旧小学校区の単位で考えたい。

問 災害が起こった時に守れる力は公助が2%で、共助・自助で98%と聞いた。地域協議会が防災活動の役割を担うと考えるが町との連携、支援は。

答 江藤総務課長
採銅所地域コミュニティ協議会と協定を結んでおり、具体的な連携は今後協議する。

町長 可能性のある土地を提示した

条件の合わない土地をなぜ提示



山岡（やまおか） 徹（とおる） 議員

問 町が提示した分遣所移転の候補地は条件を満たしてない。令和5年7月14日に候補地を提示し、約10日後に不適とされた後、約10カ月後に同じ土地を提示している。不適格とされた候補地を再提示することを疑念に思うが。

答 鶴我町長
町として候補地を上げたが、消防組合では求める土地とならなかった。町は適切に事務している。

問 消防本部と組合の決定に異論はない。町は的確な土地をなぜ出さなかったのか。

答 江藤総務課長
可能性のある候補地として5ヶ所を提示したが、消防組合から条件を満たさないと回答された。

問 令和8年8月4日に消防組合・田川消防本部の説明会があったが、町は町民に説明しないのか。広報誌も令和5年から令和8年8月号まで1度も掲載されていない。

答 鶴我町長
新たな展開があれば、その過程で説明することがあるかもしれないが、説明は果たしていると思う。

問 移転となった根本的原因は、町の提示した土地が不適格で受領されなかったことではないか。

答 鶴我町長
行政はしっかり事務処理してきた。

地域交通

問 町民は田川市や大任町のスーパーへ行きたいと言っている。町の考えは。

答 鶴我町長
行政が町内にある店がなくなることを誘導するのは間違いではないかと思う。

問 町で市場的なものか、またはカッキー号をもう1台増やすことはできないか。

答 岩丸農林振興課長
カッキー号は年間194日稼働している。買い物弱者のため、販売場所を増やすなど考えていきたい。



環境に配慮した公園を

学校跡地

問 かわらっこパークに人工芝を張ることで、マイクロプラスチックが発生するのではないかとNPO法人遠賀川流域住民の会が心配しているが。

答 國安地域振興課長
人工芝は、問題となるゴムチップがないノンフィルタイプを採用している。また、透水性舗装を行い、川に流れにくい構造で考えている。

問 流域の会は年に2回、ゴミや水質の調査を行い、河川を守っている。町としてはどうするのか。

答 國安地域振興課長
運用面でも、管理者が点検及び清掃を行い、環境に配慮していきたい。

消防町外移転で今後の説明会は

町長 説明を尽くしており、実施はない



三村（みむら） 信也（しんや） 議員

分遣所移転後の遅延

問 広報かわら9月号で、採銅所への到着時間は、322号バイパス経由で同程度との説明であるが、その根拠は。消防本部発行の令和5年度「消防年報」記載の採銅所駅到着時間5分30秒と同程度にならないが。

答 江藤総務課長
同程度という説明が組合側からあった。

移転決定前に説明がなぜなかったのか

問 令和8年8月4日の消防本部主催の説明会だけで、十分に説明がなされたとお考えか。今後、町主催で、例えば旧4小学校区の各地区で説明会実施の考えは。

答 鶴我町長
私達は説明を尽くしており、実施は考えていない。今月の広報紙でも説明しており、広報誌が行き届いていない方々には、逆に、議員さんが伝える役目を果たしていただきたい。町民にも、行政がこうして進めていることに理解を深めていただきたい。

町長への今後の提案

問 多くの香春町民にとって到着時間が遅れる恐れがある以上、補完策を町として進めるべきと考える。香春分遣所の10名体制から、大任分署では20名体制に人員規模が倍増する。日中のみ大任分署から救急隊員を派遣してもらい、4分の1から5分の1の費用で済む軽タイプの救急車両を町負担で導入し、香春庁舎敷地内の防災センターを改修して消防出張所を整備する案は、現実的に消防本部側へ提案できる。出張所設置を、町から協議、交渉を行う考えは。

答 江藤総務課長
広域事業なので負担金の問題もある。町単独でも難しい。また、どのくらい費用がかかるのか漠然としている。その費用がある程度明確でないと提案できないものと思っている。あれば見せて頂きたい。

答 三村信也議員
私の方で、改修費用、軽の救急車導入費用の試算をして後日持参する。



竹田市消防本部に導入された軽救急車R3軽救急車整備事業（約543万円）

企業誘致と町のブランディングは

問 7月の「議員と語ろう会」アンケートで、企業誘致、働く場所の創出、若者の流出対策といった、これからの香春町への声が寄せられた。この観点で、より明確な方針で誘致目標を絞っては。

答 國安地域振興課長
現在は逆に幅広く門戸を広げて募っている。

問 待ちの姿勢ではなく、なぜ香春町に来てもらうのか、立地的・特性的に親和性のある企業に対して提案型でアプローチをしては。

答 國安地域振興課長
今後進める中で、参考にしたい。現時点では、県の企業情報サイトに募集を掲載する予定で、問い合わせに応じて調整を図っていく。

※その他、町のハザードマップ表記不備、町長のトップセールス対外活動を質問した。

移動式トイレカーの導入を

町長 効果を見極め考えていく



ながまつ　しんいち
永松　伸一　議員

移動式トイレカー

問 熊本地震ではトイレが断水などで使用不能になり、水分補給を控えることで災害関連死のリスクも高まった。当町の携帯トイレ備蓄状況は。

答 江藤総務課長
簡易トイレ袋3千400枚を備蓄しており、電動式簡易トイレ10台を導入する予定。

問 軽トラック型の小型移動式トイレカーは、消防団活動やイベントなどに幅広く活用できる。1台を350万円で試算した場合、補助を活用すると町負担は約105万円となるが、導入の考えは。

答 鶴我町長
適切で効果がある備品の充実をしっかりと見極める。

キャンピングカー災害協定

問 町が締結している災害協定数は。

答 江藤総務課長
22の災害協定を結んでいる。

問 熊本地震・能登地震では民間キャンピングカーが避難所支援で活躍した。民間のキャンピングカー事業者や関係団体との災害応援協定を締結する考えはないか。

答 江藤総務課長
近隣自治体の事例も調べ、前向きに検討したい。

RSワクチン助成

問 前回、高齢者の重症肺炎を防ぐRSワクチンの接種費用の助成を提案したが、検討状況は。

答 佐野保険健康課長
副反応時の補償制度が定期接種と異なる点を踏まえ、国が定期予防接種に位置づけた際にはしっかり対応したい。

軟骨伝導イヤホン

問 耳の聞こえにくい方との会話を助ける軟骨伝導イヤホンを、役場窓口へ導入する考えは。全国1千300箇所以上で導入され、1台2～3万円と安価である。

答 脇山総合政策課長
非常に良いツールと考えており、窓口職員の意見も聞き、早急に導入を検討したい。



軟骨伝導イヤホン
（出典：直方市役所https://www.city.nogata.fukuoka.jp/kenko/_1158/_14893.html）

福祉タクシー

問 車椅子等で一般タクシーに乗車できない方が使う福祉タクシーは、物価高騰対策のタクシー助成券の対象外である。重度障害者福祉手当（年額6千円）のみでは不十分であり、助成券の対象拡大を求める。

答 脇山総合政策課長
制度上の課題、財源及び事業者の対応可否など、公平性の問題もあり現時点では考えていないが、研究は進める。

電気柵の抽選落選者の対応は

農林振興課長 3年連続落選で4年目は当選扱い



鈴木（すずき） 治（おさむ） 議員

問 不祥事発生後の報告や処分の決定方法は。

答 江藤総務課長
担当係長から担当課長、総務課長、副町長、町長の順に報告するようになっている。副町長、教育長、総務課長からなる諮問機関の香春町人事諮問委員会で審議し、最終的には町長が処分の判断を行う。

問 今後の取り組みは。

答 岩丸農林振興課長
予算での対応と地域での被害防止活動を両輪に取り組んでいく。

みがあり、7件の補助となった。抽選で3年連続落選した方は4年目は当選扱いとしている。

猿被害の対策

問 猿の出没状況は。

答 岩丸農林振興課長
香春岳から採銅所地区を周回する20頭から30頭程度の群れで、GPSを装着した猿がいる。それと別に、小倉南区側とみやこ町側から不定期に流入する約10頭規模の群れがある。

問 農産物等の被害状況は。

答 岩丸農林振興課長
令和7年度は、農産物被害11件、生活被害2件で、合計13件の報告がある。

問 猿被害対策の年間予算は。

答 岩丸農林振興課長
令和7年度決算の対策全体の総額は848万円。内容は、GPSシステム運用費、巡視員委託料、電気柵補助などである。

職員の配置期間

問 香春町人材育成基本方針では、3年から5年を目途に配置転換することが望ましいとなっているが、状況は。

答 江藤総務課長
専門職を除き、多くの職員は5年を目途に配属が変わっている。

問 電気柵設置補助は、希望者が多く抽選に当たらないと聞くが。

答 岩丸農林振興課長
令和7年度は20件の申し込

運動公園の整備

問 建設後の経過年数は。

答 加々見教育課長
平成10年竣工。27年が経過。

問 野球場に観戦席や日除け用屋根を整備しては。また、多目的グランドにトイレと日除け用屋根を整備しては。

答 加々見教育課長
暑さ対策は重要だが、強風で屋根が飛散した過去がある。今後の対応を、検討していきたい。トイレは、衛生面や利便性の面から、集約化を含め検討している。

問 野球場横の駐車場を舗装しては。

答 加々見教育課長
町の施設等全体的な在り方を検証し、中長期な視点で総合的に検討する。



駐車場の整備を

高機能消防指令システムを確認

現地視察



９月14日（月）に田川地区・中間市消防指令センターの現地視察を行いました。
消防本部職員から指令センターの機能などの説明を受け、大画面モニターに表示された地図で、通報者や出動中の緊急車両の位置を把握できることを確認しました。
また、救急現場の新しい対応として、通報者と指令センターの間で、ライブ映像をやりとりできるサービスも確認することができました。

請 願 書

請願第１号　香春町における学校教育条件整備に関する請願

原案可決

内　容　少人数学習によるきめ細かい指導など、学力向上対策の更なる充実を図るため、町費負担教職員の配置継続と増員を要望。また、児童生徒に正しい人権意識を身につけさせるとともに、学力・進路を保障していくため、国や県に対する教員の定数要望の支援を要望。

意 見 書

発委第１号　教育条件整備に関する意見書の提出について

原案可決

趣旨説明　香春思永館に通う一人ひとりの子どもたちに行き届いた教育が行えるよう、教職員の配置など教育条件整備を進めることを求める意見書。

意見書提出先　文部科学大臣、福岡県知事、福岡県教育委員会教育長

発委第２号　教育条件整備に関する決議について

原案可決

趣旨説明　香春町に対し、町費負担教職員の増員と国や県への定数要望の支援を求める決議。

意見書提出先　香春町長

発議第５号　県行政及び県議会における一連の疑義に関する全容解明と不適正な事業・公金支出の再検証を求める要望書（案）提出について

提出者　三村　信也　　**賛成者**　大坪　松雄　　山岡　徹　　下村　和子

内　容　福岡県議会における、金銭授受疑惑や高額な海外視察など、様々な疑義が連日報道されている。香春町議会として、町民に十分な説明責任が尽くされていないことや第三者委員会による徹底した事実解明と結果の全面公開などの実施を強く求める必要があることから、要望書を提出するものである。

討　論

【反対】　藤井　清孝　議員

説明責任と真相解明の重要性は否定しないが、県知事からは改革方針、新議長からは疑惑の全面解明や政治倫理条例の制定など、県民に公表されている。改革の推移を注視し、改めて適切な時期を選んで行動すべきと判断し、反対とする。

【賛成】　山岡　徹　議員

第三者委員会での外部影響を一切排した客観的な検証とそのプロセスを含めた情報公開が求められている。地方自治の信頼回復と二元代表制の健全な機能を取り戻すための建設的な要請であることから賛成とする。

採決結果　可否同数により議長裁決で否決

発議第６号　持続可能な町づくりに関する政策提言の提出について

提出者　山下　剛　　**賛成者**　藤井　清孝　永田　太一　福島　浩之　鈴木　治　永松　伸一

内　容　町民生活の現場から寄せられた声や第14回議員と語ろう会での意見を踏まえ、施策の調査・研究を重ねた結果、多方面にわたる分野の施策が求められている。町民、議会、行政が一体となり、具現化に向かって進む必要があり、今後の町政に活かすべき政策を提案するものである。

政策提言（一部）

▶老朽化が進んでいる施設もあるため、国・県の補助金や地方債などを活用し、町の財政負担に配慮しつつ、複合化や機能統合を見据えた中長期的な整備計画の策定に努められたい。

▶医療・介護制度の複雑化などにより、高齢者自身やその家族が制度を十分に理解し、活用することが困難になっているケースが生じているため、制度の周知に努められたい。

▶共働き家庭の増加、経済的な理由及び孤食などにより、栄養バランスの偏りや食のセーフティネットを必要とする子どもたちが存在している現状から、食を通じた見守りや支援を行う地域活動の支援に努められたい。

採決結果　全員賛成で可決

議案の結果一覧（令和８年９月定例会）

○：賛成　×：反対　議：議長　欠：欠席　退：退席
※議長は通常、採決に加わりませんが、採決の結果、可否同数の場合のみ態度を表明できます。

詳しくはこちら▶

議案等番号	件名	議決結果	採決結果												
			鈴木良一	三村信也	村上寿利	大坪松雄	藤井清孝	永松伸一	山岡徹	永田太一	福島浩之	山下剛	鈴木治	下村和子	小松新一
議案第46号	福岡県田川地区消防組合規約の一部を変更する規約について	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第47号	令和８年度香春町一般会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第48号	令和８年度香春町香春財産区特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第49号	令和８年度香春町勾金財産区特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第50号	令和８年度香春町国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
議案第51号	令和８年度香春町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議案第52号	令和８年度香春町水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第53号	旧香春中学校解体工事（１工区）請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第54号	旧香春中学校解体工事（２工区）請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
諮問第２号	人権擁護委員の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第１号	令和７年度香春町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
認定第２号	令和７年度香春町住宅改修資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第３号	令和７年度香春町香春財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第４号	令和７年度香春町勾金財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第５号	令和７年度香春町中津原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第６号	令和７年度香春町高野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第７号	令和７年度香春町柿下財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第８号	令和７年度香春町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
認定第９号	令和７年度香春町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
認定第10号	令和７年度香春町生活排水処理事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第11号	令和７年度香春町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定第12号	令和７年度香春町工業用水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
選挙第１号	香春町選挙管理委員及び補充員の選挙	指名推選	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
委員会提出発委第１号	教育条件整備に関する意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
委員会提出発委第２号	教育条件整備に関する決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議員提出発議第４号	非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議員提出発議第５号	県行政及び県議会における一連の疑義に関する全容解明と不適正な事業・公金支出の再検証を求める要望書（案）提出について	否決	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×
議員提出発議第６号	持続可能な町づくりに関する政策提言の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第１号	香春町における学校教育条件整備に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

傍聴者の声

9月定例

本会議を傍聴していただきありがとうございます。
紙面の関係上、要旨のみの掲載となりますが、皆様からいただきました意見や感想を紹介します。

**議会の放送がほとんど聞こえませんでした。
議会開催日の住民への周知方法を考えてもらいたい。（70代）**

↳防災無線は、聞こえにくい場所などがあり、音声でお伝えする方法の課題と認識しています。日程は、ホームページで掲載しているほか、町公式LINEでもお知らせしていますので、ご登録をお願いします。

議員の質問に対して、行政側も真剣に対応していると思う。（80代）

↳議会と執行部で、しっかり議論できるよう取り組んでまいります。

小型スーパーみたいな店を誘致してほしい。空いている土地はありますが。（70代）

↳貴重なご意見ありがとうございます。町が抱える課題に対し、調査研究してまいります。

一連の事業に関し意見の違いが感じられた。もう少し、それぞれで意見を交わして香春町を住みやすい町にしてください。（60代）

↳活発な議論を通じて、町の発展に取り組んでまいります。

重複した一般質問は1つにしてほしい。（70代）

↳議員個々の着眼点を踏まえ、質問の調整ができるよう、検討してまいります。

傍聴者アンケート

●年齢は？

10代	0人
20代	1人
30代	0人
40代	2人
50代	1人
60代	3人
70代	10人
80代以上	1人
合　計	18人

●傍聴回数は？

初めて	4人
2～4回目	4人
5回目以上	10人

●傍聴理由は？（複数回答可）

町議会や町政に関心がある	12件
関心がある議案が提出されている	8件
議員の質問内容に関心がある	12件
議員の応援のため	3件
知人、友人等に誘われた	6件
その他　・待合中TVにて	1件

皆様からいただきましたアンケートは、全員協議会で情報共有し、今後の改善の参考とさせていただきます。
引き続き傍聴に参加した皆様へアンケートを行いますので、ご協力をお願いします。

**次は12月議会　皆様の傍聴をお待ちしています！
第4回定例議会　12月8日㈫～11日㈮開催予定**

発行責任者／議長　小松　新一
〒822-1492　福岡県田川郡香春町大字高野994番地
発行／香春町議会　編集／議会広報常任委員会
TEL（0947）32-8411　FAX（0947）32-5899